

神奈川県の学童保育

この時期前文にしたい材料が様々生まれている。

大阪府警の機動隊員の沖縄での「土人がぼけ」の発言。その発言の問題を曖昧にする大臣や正当化する府知事。横浜では、福島から避難した子どもへのいじめ。尾木先生のTV発言によれば横浜にきた時には、配慮ある対応がされたようだ。いじめの内容、恐喝からすると大人の影響がうかがわれる。

沖縄の問題、横浜の件いずれも根は同じに感じる。

少なくとも目の前に起きた時、そのことを許さない姿勢だけは貫きたい。

第51回全国学童保育研究集会 in 愛知

— 県内から232名が参加 —

今年は10年ぶりの愛知県での開催でした。10年前の愛知全国研に行かれた方も多いのではないでしょうか？

全国各地から4,707名の参加者が集まり、神奈川県内からも232名の保護者・指導員が参加しました。

歓迎行事では、やっこ(三角馬)に乗りながら子どもたちが登場。乗ったままびよんびよんとジャンプ、そしてそのまま大縄とびをとぶ子どもたちには驚かされ、会場からは歓声の音が上がりました。そして子どもたちの息のそろった鳴子ダンスにはアンコールの声もあがり、愛知の歓迎ムードにはとても感動しました。

特別報告では地元愛知と被災地からの報告があり、今年は熊本県からも仮設学童での子どもたちの様子が話され、まだ落ち着かない様子で怖がったり、不安で声が大きくなってしまふ子もいた。指導員としては、この地震が夜ではなく学童が開いてる時間に起こっていたら子どもたちを守ることができただろうかと不安に思います。と話されました。

全体会記念講演では、「子どもと大人の役割」というテーマで福山市立大学教育学部教授の田丸敏高先生の講演でした。昔はままとて人気だったのはお母さん役だったのが今は、猫や子ども役が人気。というお話がとても印象的でした。日々忙しい子どもたち、“猫のように一日中ゴロゴロしたい”“子ども役で甘えていたい”と思うのではないかと、子どもたちの生活環境が子どもたちの成長発達に影響してくるんだなあ～と感じました。

～ 2日目(分科会) ～

2日目、分科会会場の金城学院大学は女子大ということもあり、とてもきれいな建物に感動しました。朝早くから会場への列が途切れることなく、まるで参加者の想いがカタチになったかのような光景でした。

私が参加した第21分科会は「子どもの発達と学力」。2020年度から実施される次期学習指導要領のキーワード「アクティブ・ラーニング」のお話から始まり、受験学力と生きる学力のちがいや、何のために学ぶのか?といった専門的な講義をいただきました。安心して思いを語れる関係や場の大切さと、受けとめられる安心感の説明では、まさに学童がその場であると感じました。最後に「は(早く)・か(簡単に)・せ(正確に)」だけを追求してはいけない。ゆっくりと濃密な「思考回路」を育てる。「悪循環ではなく好循環に」と、まとめられました。午後は質疑応答を行い、参加者の悩みに答えていただきました。

帰りには来年の開催地、兵庫県の皆さんがお見送りしてくださるなか、全国の仲間が集まって一緒に勉強する感動を、たくさんの方々に感じていただきたい。神奈川県で開催されるといいな。と思いながら帰宅しました。愛知県のみなさん、充実した2日間をありがとうございました。

活動報告(10月～11月の主な活動報告)

9月11日(日) 指導員(一)交流会	10月25日(火) 県資質向上研修③in 海老名市
9月21日(水) 県資質向上研修①in 平塚市	10月28日(金) 全国連協2016年総会
10月2日(日) 拡大運営委員会 in 三浦市	10月29日(土) 第51回全国学童保育研究集会
10月4日(火) 県資質向上研修②in 小田原市	～30日(日)

♪ 地域連協だより ♪

大和市連協より

11月20日(日)、大和市連協の交流行事「やまと★ピック」が西鶴間小学校で開催されました。これはオリンピックにちなんだ運動会で、大人33名、小学生25名、幼児7名、計65名が参加して楽しい熱戦が繰り広げられました。プログラムは、ストローのやり投げ、輪ゴムの射撃、大縄跳び、スポンジの砲丸投げ、ポッチャ、紙飛行機投げ、資源回収リレー。楽しくかつ安全にプレーができるように工夫しました。ポッチャは初挑戦。思うようにボールが転がらず、どこにボールを投げるかに頭を使い、みんなで楽しめる競技でした。子どもたちは紙飛行機投げが大好きで、休み時間にも飛ばしていました。昼休みには支援員さんが作った豚汁がふるまわれ、表彰式では大和市のマスコット「ヤマトン」がメダルの授与。子どもたちはとてもうれしそうでした。

このように、保護者と支援員が協力したイベントを行うことで、いつもは交流できない公設クラブの方にも参加してもらい、学童保育の楽しさを知っていただくことが交流会の目的です。昼休みには父母が集まり、大和市の学童保育の課題や市連協活動について説明をしました。

秋の人事異動で、ここ数年意見を交わしてきた担当者が異動になり、新しい担当者との最初の意見交換会を12月に行う予定です。子どもたちの笑顔のために保護者と支援員が協力することは、運営形態に関わらず学童保育の根幹です。大和市に育つ子供たちが安全で楽しい放課後が過ごせるように、これからも尽力したいと思います。

今月の連協だよりは大和市と平塚市です！！

さて、かな研(神奈川県学童保育研究集会)に向けての準備に入りました。2月26日(日)・関東学院大学金沢八景キャンパスでの開催です。

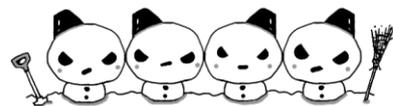
平塚市連協より

平塚市連協では、10月23日(日)に学童まつりが開催されました。ハロウィン🎃が近いということもあり、仮装大会が行われ、子どもだけでなく、大人も一緒に楽しみました。優勝した学童には(豪華?)賞品が贈られました。

11月12日(土)、13日(日)は、浅間祭りへ参加し、久しぶりに天候に恵まれ、模擬店の販売も盛況のうちに終了しました。

どちらのお祭りも、子ども、保護者がいろいろな意味で交流を深めることができ、やっぱり学童っていいなあ…と思えるひと時でした。

12月4日(日)には、県次世代育成課の小谷氏をお迎えし、平塚市青少年会館にて運営指針について勉強会を開きます。多くの方の参加をお待ちしています。



来月の「地域連協だより」では海老名市と寒川町を予定しています。お楽しみに！

<これからの予定>

- 1月15日(日) 新春連協会長会・「日本の学童ほいく」誌普及推進会議(横浜市健康福祉センター)
- 1月25日(水) 第45回指導員交流会(横浜市●●学童)
- 2月26日(日) 第40回神奈川県学童保育研究集会『『おかえりなさい』は魔法のことば』
- 6月●日(日) 第42回神奈川県連協定期総会

*研修等の詳細は、県連協HP(<http://atdiary.jp/kanaken>)をご覧ください。